

生徒指導論	2年・後期	2単位	教授 平沢 信康
科目カテゴリー	教職科目	科目ナンバリング	36411312

1. 授業のねらい・概要

本科目は、児童生徒一人一人の「生きる力」を育み、望ましい人間形成を促す上で重要な役割を果たしている生徒指導の意義とともに、生徒指導が包含する領域・諸課題、指導方法、指導体制や関連組織および生徒の抱える問題行動について検討する。あわせて、生活指導に関する教育福祉的なマインドを養うことをねらいとする。

2. 学修の到達目標

1. 生徒指導の意義および役割について理解する。
2. 生徒指導に関係する分野・領域、諸問題行動について理解する。
3. 生徒指導の体制づくりの視点および関係諸機関との連携の重要性を理解する。
4. 集団指導と個別指導という2つの方法や、訓戒とカウンセリングといった異なるアプローチについて理解する。

3. 授業の進め方

基本的には講義概要を示したレジュメにそって講義形式で進めるが、その教材資料をもとに講義形式で進めるが、適宜インターネットを利用して受講学生のアクティヴ・ラーニングを促す。すなわち受講生の所有するスマホを活用し、語義や重要人物の経歴および画像、法律の条文、各種統計データ等を検索して確認し、理解を深める。

また適宜、生徒指導上の諸課題・学習テーマに関する意見交換や体験発表の機会も挿入したい。

4. 授業計画（講義）

1. 「生徒指導」と「生活指導」— 語義と歴史	10. 教育福祉と生徒指導 — 格差社会における孤立・無縁・貧困・虐待
2. 非行・逸脱行動と生徒指導 — 青少年の健全育成をめざして	11. 生徒指導にかかわる関係諸機関と地域の篤志家
3. 喫煙・薬物乱用防止教育と生徒指導	12. 「社会力」の育成と生徒指導 — 奉仕体験活動・ボランティア活動
4. 街頭補導と生徒指導 — 深夜徘徊への対応	13. 学校の内外における生徒の暴力及びいじめ問題への対応
5. 生徒指導とカウンセリング	14. 学校における規律形成と生徒管理 — 教室の荒廃に抗して
6. 生徒の心身の健康づくり— 保健指導の課題	15. ICT普及に伴う新しい指導課題 — 情報化社会・ネット社会のはらむ諸問題
7. 規則正しい生活習慣の形成と生徒指導	
8. 不登校（登校拒否）・引きこもり・高等学校中途退学	
9. 就労意欲の涵養とキャリア教育 — 「フリーター」「ニート」への対策	

5. 成績評価の方法・基準

学期末試験の成績を50%、毎回の講義終了時に記してもらった感想コメント（平常点）が50%を目安として、総合的に評価する。なお、今後も新型コロナウイルスの感染が続くような状況下では、学期末試験をレポート提出に替えることがある。

6. テキスト・参考文献

テキスト：なし

参考文献：高橋哲夫（代表）『生徒指導の研究 第三版』教育出版、2009

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な学習内容

参考文献を初め、本学図書館所蔵の関連文献の当該部分を次回講義までに読んで予習復習（各30分程度）しておくこと。

8. 受講上の留意事項

養護教諭として教職に就くことを志望する学生の受講を望む。常日頃から生徒指導に関係する時事報道に接することを心掛け、テレビニュースを積極的に視聴し、新聞報道にも敏感であってほしい。

9. 課題に対するフィードバックの方法

毎回の講義終了時に記してもらった出席票兼用の「感想メモ帳」に書かれた小文に対して添削とコメントを付して次週の講義冒頭に返却するので、注視されたい。また学期末試験の終了後、特に注意を喚起すべき事項（多かった誤答など）について指摘した講評を掲示する。

今後も新型コロナウイルスの感染が続くような状況下では、各回の講義終了後、感想文を電子メールで提出してもらい、その内容に関して、ネットを通じてコメントを送信し、誤字添削も行う。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

教職課程の必修科目である。

11. 実務経験のある教員等による授業科目

該当しない。